

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

令和2・3年度 彩の国落語大賞受賞者決定



桂 宮治

令和4年6月8日(水) 13:00～14:00 彩の国落語大賞表彰式

～取材のお願い～

この度、彩の国さいたま芸術劇場におきまして「令和2・3年度彩の国落語大賞表彰式」を行う運びとなりました。ご査収のうえご取材くださいますようお願い申し上げます。

「令和2・3年度彩の国落語大賞表彰式」取材申込・お問合せ

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場） 事業部 前田

E-mail: maeda-t@saf.or.jp ※メールにてご連絡ください。

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1

TEL 048-858-5500(代表)・FAX 048-858-5515

令和 2・3 年度彩の国落語大賞受賞者のお知らせ

「彩の国落語大賞」は、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団が、年に 4 回主催する「彩の国さいたま寄席～四季彩亭」に出演した若手落語家（※1）のうち、年間で最も優れた演者（※2）に贈られる賞です。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定されていた 4 回の内 2 回が中止となったため、令和 2・3 年度合同で選考し、表彰することとしました。

選考対象者 22 名の激戦（詳細別添資料）を制した、令和 2・3 年度彩の国落語大賞受賞者が次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

◎ 令和 2・3 年度彩の国落語大賞受賞者 桂 宮治（かつら・みやじ）

- { (※1) 若手落語家 = 各回に出演する、ゲスト以外の落語家。二ツ目だけでなく、前座、若手真打も含む
(予選会やエントリー等はありません)。
(※2) 最も優れた演者 = 公演当日の一般来場者によるアンケート投票で選考（審査員方式ではありません）。

令和 2・3 年度彩の国落語大賞表彰式

令和 2・3 年度彩の国落語大賞表彰式につきましては、以下のとおり行います。

- 日 時： 令和 4 年 6 月 8 日(水) 13:00～14:00
- 会 場： 彩の国さいたま芸術劇場 会議室 2 《2 階》（埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1）
- 出席者： 桂宮治（彩の国落語大賞受賞者）、加藤容一（公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 理事長）

● 受賞者プロフィール

桂 宮治（かつら・みやじ）

平成 20 年 サラリーマンを辞め、31 歳で桂伸治に入門

平成 24 年 二ツ目昇進

令和 3 年 2 月 真打昇進 ★5 人抜きの抜擢昇進！落語芸術協会では、
春風亭昇太以来 29 年ぶり。

◆平成 24 年度 NHK 新人演芸大賞 落語部門大賞

◆平成 26 年度 国立演芸場 花形演芸大賞 銀賞

◆平成 27 年度 第 26 回北とぴあ若手落語家競演会 北とぴあ奨励賞



令和 4 年 4 月から『笑点』大喜利レギュラー、今最も勢いに乗っている「令和の爆笑王」！！
趣味は子供に遊んでもらうこと、銭湯巡り。

●彩の国さいたま寄席～四季彩亭 出演歴

平成 25 年 10 月	若手落語家競演会	【『棒鱈』】
平成 27 年 4 月	三遊亭小遊三と精鋭若手落語会	【『禁酒番屋』】
平成 29 年 4 月	柳亭市馬と若手落語家競演会	【『皿屋敷』】
令和 3 年 7 年	柳家さん喬と若手落語家特選会	【『四段目』】 ★大賞受賞

●受賞根多『四段目』（よんだんめ）

古典落語の演目の一つ。「四段目」は『仮名手本忠臣蔵』の四段目のこと。

芝居好きの丁稚（定吉）は、主人の使いの最中に芝居の立ち見をしてしまい、遅くなって帰ってくる。主人の咎めに対し、定吉は嘘をついて誤魔化そうとするが、主人は騙されない。しかし定吉もサボっていたことを認めず、むしろ自分は大的芝居嫌いだと言い始める。そこで主人は、わざと忠臣蔵の間違った筋書き（あるいは役者）を話すと、思わず定吉は「それは間違っている、今自分が見てきたばかりだから間違いない」とボロを出してしまう。怒った主人は定吉を、蔵に閉じ込める。

蔵に入れられた定吉は忠臣蔵・四段目の判官を気取って悪態をつきながら、芝居の真似をして時を過ごす、判官切腹の段のセリフが外に漏れて…。



令和3年7月の四季彩亭にて『四段目』を熱演する宮治師匠

© 加藤英弘

彩の国落語大賞受賞者の会

受賞を記念して、「令和 2・3 年度彩の国落語大賞受賞者の会」を開催いたします。

- 日 時：令和 5 年 2 月 3 日（金）18 時開演予定
- 会 場：埼玉会館 小ホール ※
- 出演者：桂宮治（2 席披露）、ほか豪華ゲスト予定
- 料 金（全席指定・税込）：一般 3,200 円／ゆうゆう割引（65 歳以上、障がい者）2,100 円

※令和 4 年 10 月から令和 6 年 2 月まで彩の国さいたま芸術劇場は改修工事のため休館いたします。

※チケット発売日未定。

彩の国さいたま寄席～四季彩亭 令和 4 年度の公演予定

【春】

公演名：柳家権太楼とおすすめ若手寄席 **《公演終了》**

日 時：令和 4 年 4 月 16 日（土）14 時開演

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

出演者：柳家権太楼（ゲスト）、古今亭駒治、柳家権之助、柳亭市弥

【夏】

公演名：林家彦いちと納涼特選若手寄席 **《チケット発売中！》**

日 時：令和 4 年 8 月 6 日（土）14 時開演

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

出演者：林家彦いち（ゲスト）、柳家わさび、玉川太福（浪曲）、三遊亭わん丈

【秋】

公演名：未定

日 時：令和 4 年 12 月 4 日（日）

会 場：埼玉会館 小ホール

出演者：未定

【冬】

公演名：令和 2・3 年度彩の国落語大賞受賞者の会

日 時：令和 5 年 2 月 3 日（金）18 時開演予定

会 場：埼玉会館 小ホール

出演者：桂宮治、ほか

◆お問い合わせ：彩の国さいたま芸術劇場（SAF チケットセンター）0570-064-939

彩の国落語大賞とは

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団では、若手落語家の登竜門として平成 16 年度まで「拾年百日亭」を実施し、年間の優秀演者を表彰してまいりました。平成 17 年度からは、これをリニューアルし、若手からベテランまで幅の広い演芸公演の場として「彩の国さいたま寄席～四季彩亭」を創設するとともに、この「彩の国さいたま寄席」の出演者のうち、若手落語家を対象として、観客の投票をもとに年間で最も優れた演者を決定し、「彩の国落語大賞」を引き続き贈呈していくことといたしました。

歴代の大賞受賞者は、埼玉県秩父市出身で「笑点」大喜利レギュラーの林家たい平に始まり、新作も古典も現代的なセンスで聴かせる柳家喬太郎、名人の系譜を受け継ぐ柳家三三、NHK Eテレ『落語ディーパー』での軽妙なトークも記憶に新しい春風亭一之輔など、現在はいずれも当代きっての人気・実力を兼ね備えた噺家となっており、将来の落語界のスターを生み出す場として、「彩の国落語大賞」が大いに注目されているところです。

●受賞者一覧

	彩の国落語大賞	技能賞	殊勲賞	特別賞 (芸術総監督賞)
平成 10 年度	林家たい平	柳家花緑	立川志らく	
平成 11 年度	柳家花緑	柳家喬太郎	桂あやめ	
平成 12 年度	立川志らく	立川談春	柳家三太楼	
平成 13 年度	柳家喬太郎	神田山陽	三遊亭歌武蔵	
平成 14 年度	立川談春	三遊亭歌武蔵	立川笑志	神田山陽
平成 15 年度	三遊亭歌武蔵	立川笑志	林家彦いち	
平成 16 年度	三遊亭白鳥	五明樓玉の輔	橋家文左衛門	
平成 17 年度	三遊亭遊雀			
平成 18 年度	林家彦いち			
平成 19 年度	柳家三三			
平成 20 年度	立川生志			
平成 21 年度	三遊亭歌奴			
平成 22 年度	桃月庵白酒			
平成 23・24 年度	桂文治			
平成 25 年度	三遊亭兼好			
平成 26 年度	立川談笑			
平成 27 年度	春風亭一之輔			
平成 28 年度	三遊亭萬橘			
平成 29 年度	春風亭昇也			
平成 30 年度	林家たけ平			
令和元年度	三遊亭鬼丸			
令和 2・3 年度	桂 宮治			

●『表彰状』の用紙について～小川和紙

埼玉県小川町・東秩父村は、「和紙の里（産地）」として知られ、その歴史は約 1,300 年に及びます。小川和紙のなかでも、国産の楮（こうぞ）だけを使用した「細川紙」の製造技術は、昭和 53 年に国の重要無形文化財に指定され、平成 26 年には埼玉県で初めて、ユネスコ無形文化遺産の「人類の無形文化遺産」に認定されています。

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団では、落語大賞の創設以来、受賞者に贈呈する表彰状に、小川和紙を使用し、今回贈呈する表彰状は、小川和紙工業協同組合の協力を得て、細川紙の技術保持団体である、細川紙技術者協会に制作を依頼したものです。

『令和2年度・令和3年度 彩の国落語大賞』選考対象者一覧【全6公演：合計22名】				別添資料
令和2年度（2020年度）※2公演				
公演日	公演名	出演者 ※赤字:選考対象	根多 ※出番順	チラシイメージ
令和2年4月18日	春の会【コロナの為中止】	-	-	
令和2年7月11日	夏の会【コロナの為中止】	-	-	
令和2年10月31日	令和元年度彩の国落語大賞受賞者の会	三遊亭鬼丸 三増紋之助（江戸独楽） 林家けい木 林家木はち	木はち『寿限無』 けい木『天狗裁き』 鬼丸『茶の湯』、『らくだ』	
令和3年1月16日	林家彦いちと新春若手落語会	林家彦いち 桂三木助 古今亭志ん五 春風亭昇吉 林家やまびこ	やまびこ『金明竹』 昇吉『安いお店』 三木助『へつつい幽霊』 志ん五『デメキン』 彦いち『長島の満月』	
令和3年度（2021年度）※4公演				
令和3年4月24日	三遊亭小遊三と花形若手競演会	三遊亭小遊三 立川志らら 瀧川鯉八 春風亭昇吾 立川幸太	幸太『寄合酒』 昇吾『鈴ヶ森』 志らら『宮戸川』 鯉八『最後の夏』 小遊三『長命』	
令和3年7月17日	柳家さん喬と若手落語家特選会	柳家さん喬 柳家小平太 桂宮治（★） 林家けい木 立川幸太	幸太『子ほめ』 けい木『壺算』 小平太『片棒』 宮治『四段目』 さん喬『唐茄子屋政談』	
令和3年10月23日	柳亭市馬と精鋭若手落語会	柳亭市馬 柳亭燕三 春風亭柳枝 春風亭昇羊 春風亭かけ橋	かけ橋『道灌』 昇羊『粗忽長屋』 燕三『もぐら泥』 柳枝『そば清』 市馬『味噌蔵』	
令和4年1月15日	立川志らくと新春花形若手寄席	立川志らく 立川志らら 立川らく次 立川志ら門 立川らくまん	らくまん『子ほめ』 志ら門『初天神』 志らら『風呂敷』 らく次『お見立て』 志らく『紺屋高尾』	